

郷土資料館だより

Vol.36 No.2
2013.11.1

ごあいさつ

三島市郷土資料館は昭和46年に開館して以来43年目を迎えました。このたび耐震補強工事と展示制作を完了し、11月1日（金）にリニューアルオープンを迎えることができました。従来に見る展示から「自分の手を動かして学ぶ」体験型の博物館に大きく生まれ変わりました。開館にあわせ、「リニューアル記念イベント」も開催いたします。是非一度、郷土資料館に足をお運びいただき、新しい展示品をご覧くださいと共に関種体験学習プログラムにふれていただければ幸いです。一人でも多くの皆様のご来館をお待ち申し上げます。

郷土資料館館長 鈴木敏中

リニューアルオープン記念企画展

郷土資料館ではリニューアルオープンに合わせ、記念企画展「偉人たちの足跡を訪ねて」を郷土資料館1階企画展示室で行ないます。三島に伝わる歴史上の人物ゆかりの地を紹介し、また近隣の地域の史跡なども紹介します。

源頼朝をはじめ、豊臣秀吉や徳川家康などの武将から太宰治や井上靖といった文豪まで、歴史に名を残す偉人たちの史跡を訪ねます。頼朝伝説として伝わる中から、頼朝が仮眠したと伝わる「間眠神社」や頼朝が手洗い水を湧き出させたと伝わる「右内神社」、豊臣方と北条氏との戦いが繰り広げられた「山中城跡」、市内に残る文学作品の舞台となった場所などを紹介します。歴史ある場所に想いを馳せ、そして本展でご覧いただいた史跡や伝説の地に足を運んでみてはいかがでしょうか。

また、関連イベントとして三島の歴史クイズ「三島の歴史・伝説を巡ろう」や「火縄銃にさわってみよう！」（土曜日）、紙芝居「合戦山中城」（土曜日）の上演を行ないます。



右内神社



間眠神社



山中城跡の障子堀



山中城跡の西ノ丸全景



郷土資料館は小さいお子さんから大人まで楽しみながら学べる博物館に生まれ変わりました。



東海道五拾三次之内三島 朝霧



復元農家



検地帳



縄文土器



木製冷蔵庫



ポストカード



浮世絵パズル



浮世絵立版古

郷土教室・ボランティア活動報告

7月14日(日) 楽寿園の自然

参加者 52人
 内容 富士山溶岩の顕微鏡観察、伊豆の化石観察
 楽寿園内の溶岩観察ツアー



7/14 縄状溶岩を観察

7月28日(日) 子どもと大人の美術体験！

参加者 35人
 講師 田中毅氏、富田菜摘氏
 協力 ART FOR CHILDREN CLUB(ギャラリー エクリュの森)
 内容 身の回りにある木の枝や廃材を使つてのオブジェづくり



7/28 子どもと大人の美術体験！

8月2日(金) 郷土資料館館内探検ツアー

参加者 17人
 内容 館内設備の見学、展示ケースに入ってみる
 展示室の壁面にメッセージを描く



8/2 館内探検ツアー メッセージを描く

8月2日(金) 夏休み体験デー昔のあそび

参加者 25人
 内容 うちわ作り、ブンブンコマ作り、こま、けん玉
 缶ポックリ、紙芝居の上演



8/2 ブンブンコマ作り

8月3日(土) 夏休み体験デー昔の暮らし

参加者 40人
 内容 ワラで縄をなう、縄を輪にして輪投げ遊び
 長い縄を作り縄跳び遊び



8/3 ワラで縄をなう

8月11日(日) 古代の暮らし

参加者 62人
 内容 勾玉作り、火起こし(舞錐式)
 土器当てクイズ(市内で出土した土器片を利用)



8/11 勾玉作り

9月8日(日) 昔のあそび

参加者 30人
 内容 メンコ作り、ブンブンコマ作り、こま、けん玉
 缶ポックリ、紙芝居の上演

毎月第2日曜日に開催している郷土教室ですが、夏休み期間中は実施回数を増やしました。時間をかけてすべてのメニューを体験した子や次の回の教室にも参加してくれた子も見られました。また、去年も勾玉を作った子から「今年は何色にしよう」「今年は何色にできた」といった声も聞かれました。これから少しずつリピーターが増えていくのでは、と期待しています。

※ 8月以降の郷土教室は郷土資料館、資料館ボランティアの会などで行う三島市郷土資料館創造活動実行委員会の事業として実施しました。

伊豆半島ジオパーク構想 Vol.9

今年の6月29日、静岡県地学会東部支部が実施した「三島溶岩観察会」で、菰池公園西側（一番町7番）の湧水地、通称鏡池の池底部の溶岩中に横倒しになった樹幹の跡「横臥溶岩樹型」が発見されました。市街地の真ん中に、貴重な自然遺産があるとは誰も考えていなかったもので、参加者全員「驚き」の一言でした。今回は、三島市内で観察できる「溶岩樹型」を2点紹介します。

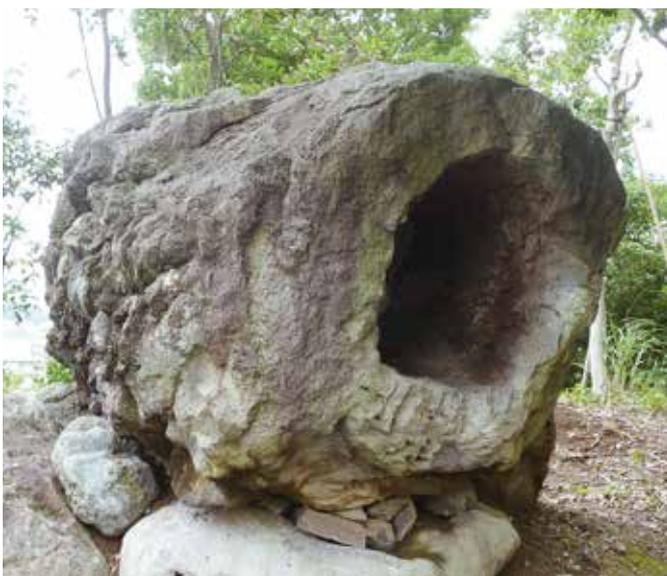
森林地帯を流下する溶岩流は、樹木を焼き尽くしながら流れます。樹幹部は接した溶岩を急冷し、周りの溶岩に樹幹の「雌型」が残る場合があります。これが溶岩樹型です。

溶岩樹型が出来て、残るためには、いくつかの条件が必要です。大木の茂った森林があること、溶岩が流れやすい玄武岩質であること、次の溶岩流が連続して重ならないこと、溶岩流の末端や周辺部であること、開発などで破壊されないこと、などです。

溶岩樹型は大きく3種類に分類されます。溶岩流に埋もれた立木の基部がそのまま残る「直立樹型」、溶岩流に焼かれ倒れた木が、溶岩の流れる方向に横倒しとなり溶岩層に埋もれた「横臥樹型」、溶岩に焼かれ倒れた大木が溶岩流の表面を転がり、木の周りに溶岩が巻き付いてできた「筒状樹型」などです。

今回発見された「横臥溶岩樹型」は直径約40cm、長さ約2mですが、もう一つ大きな特徴があります。それは、木が焼かれたときに発生した大量の水蒸気（水が水蒸気になると体積は1200倍以上になる）が、周りのまだ固まりきっていない溶岩層を押しつけて外へ抜け出した跡（スパイラクル）が残っている事です。溶岩樹型とスパイラクルがセットになったものは非常に珍しく地質学的にもたいへん貴重です。他所では観察できません。ぜひ一度ご覧になって下さい。

鏡池の「横臥溶岩流」巻尺は50cm



愛樹園 岩石庭園の「筒状溶岩樹形」

向山小校正門前の道路を挟んだ北側に「愛樹園」の岩石庭園があります。ここには大きな太鼓の形をした円筒形の溶岩が置かれています。長さ約2m、外径約1.1m、重さ6.3トンの巨大な「筒状溶岩樹型」です。昭和30年頃、富士宮市上井出の業者から購入したそうです。鉋物の特徴は上井出付近の赤焼溶岩と類似しています。富士の裾野で見つかる筒状溶岩樹型は、鎌倉時代に源頼朝が富士の裾野で「巻き狩り」を行った際に使用した「頼朝の矢筒」という伝説があります。この溶岩樹型は「筒状樹型」としては、富士山で今まで発見されている中では最大のものです。三島市には、日本中に誇れる溶岩樹形型が二つもあります。ぜひご覧になって下さい。

三島市郷土資料館運営協議委員会 増島 淳

寄贈・購入資料の紹介

平成25年7月から平成25年9月までに、次の方々から寄贈のご協力をいただきました。ありがとうございました。また、6点の史料を購入しました。

寄贈資料

三島市 池田 裕介氏	14型テレビ、雑誌、地域資料（学校建設、製氷工場関連ほか）、教科書 他
三島市 石川美奈子氏	メガネ1点、軍友会腕章1点、書き方手本1点 戸籍届出に関する書類1点、いろは引大辞典1点
三島市 辻 好恵氏	古書（地方凡例録、地方落穂集、伊豆の海、武将感状記、西国立志編ほか）、 戦争中の水筒1点
三島市 久保田信義氏	トックリ4点、棹秤3点、石臼1点、巻尺1点、 ネズミ取り1点、ピシャン1点、拍子木2点、蓑1点

購入資料

浮世絵 役者絵東海道五十三次の内 三島	3枚続き 三代歌川豊国 江戸時代後期
東海道巡覧記	江戸時代中期 東海道のガイドブックで沿道の名所や立場、一里塚、宿場間の馬・人足賃などが掲載されている。
極東煉乳(株) 三島工場新築記念絵はがき	極東煉乳（旧花島煉乳）の記念絵はがき6枚 三島新工場、輸入乳牛等の写真
三島町町勢一斑	昭和4年各種統計資料 主な生産物に清酒、傘、氷、乳製品
静岡県の葉	昭和4年静岡県の行財政、産業などの紹介 史跡・名勝に行在所、小浜池、山中城址など
三島市市勢要覧	昭和28年各種統計資料 特産品にわさび漬、竹行李、オートバイなど



トックリ（久保田氏寄贈）



古書（辻氏寄贈）



市勢要覧（昭和28年）



東海道巡覧記



極東煉乳絵はがき

■古今伝授のまち三島と郡上大和 ※【講演会・講座】参加無料、要申込み（先着順）

パネル展	講演会	講座
11月1日(金)～11月13日(水) 「古今伝授とは？」	11月4日(月・振替) 午後1時30分～4時 公家の文化から民衆の文化へ 「古今伝授のまち三島」とは何だ！	11月6・7・13日 「短詞形文学の礎」
郡上市の紹介 三島市・裾野市・箱根町の古今伝授に関する資料の紹介 古今伝授に関する人物の紹介 三島千句など作品の紹介 会場：郷土資料館 多目的室	「東常縁と宗祇」 講師：金子徳彦氏 (郡上市古今伝授の里フィールドミュージアム館長) 「古今伝授の場所」 講師：土屋比都司氏(伊豆史談会常任理事) 「宗祇の三島千句」 講師：藤岡武雄氏(三島宗祇法師の会会長) 会場：三島市生涯学習センター3階講義室	「俳句と連歌 俳句を作ろう」 11月6日(水) 午前10時 11月7日(木) 午後1時30分 「連歌とは？ 連歌を詠んでみよう」 11月13日(水) 午後1時30分 会場：楽寿園内 梅御殿

■郷土教室の予定

内容	とき	ところ
楽寿園の自然 楽寿園の溶岩をめぐろう	11月10日(日) 10時～12時/13時～14時30分	郷土資料館内外
三嶋暦を刷ってみよう 樹脂製の暦の版木を使って、江戸時代の三嶋暦(一部)をつくる。	11月16日(土) 10時～12時/13時～14時30分	多目的室

■リニューアルオープン記念関連イベント

イベント内容	とき	ところ
三島の歴史・伝説を巡ろう 館内で配るクイズを持ち市内の史跡を巡ってくださった方に記念品をプレゼントします。	11月1日(金)～12月15日(日)	展示室内で配布
火縄銃にさわってみよう 展示ケースの外へおいた火縄銃を気軽にさわることができます。	11月2日(土)～12月14日(土) 期間中の毎週土曜日	企画展示室
紙芝居「合戦山中城」の上演 館職員の手作り紙芝居を上演します	11月2日(土)～12月14日(土) 期間中の毎週土曜日	資料館前

■古文書入門講座「はじめての古文書」 ※受講無料

とき	11月17日～平成26年3月16日までの毎月第3日曜日(全5回)・午後1時30分～3時
ところ	郷土資料館1階多目的室
講師	関守敏さん(郷土史家、古文書講習会幹事)
定員	25人 ※古文書学習がはじめての方を優先します
申込み	11月6日(水)締切り ※電話または電子メールで、住所・氏名・電話番号・古文書学習歴を郷土資料館へご連絡ください

■企画展次回予告

「暮らしを彩った機械たち」

期間 平成26年1月3日(金)～3月16日(日)

乾板式組み立てカメラ

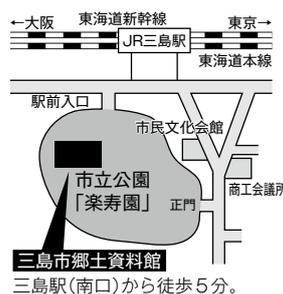


蓄音機



郷土資料館のご利用案内

〒411-0036
静岡県三島市一番町19-3 楽寿園内
TEL055-971-8228 FAX055-971-6045
開館時間 午前9時～午後5時(4月～10月)
午前9時～午後4時30分(11月～3月)
休館日 毎週月曜日(祝日のときは翌日)
入館料 無料(ただし楽寿園入園の際は有料)



郷土資料館だより

vol.36 No.2(第107号)
発行日 平成25年11月1日(年3回発行)
編集 三島市郷土資料館
発行 三島市教育委員会
E-mail: kyoudo@city.mishima.shizuoka.jp
URL: http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo/